



# 基本的な アプリケーションの 作り方と配置法

●西沢 直木 NISHIZAWA, Naoki

## はじめに

WebMatrixHostingはASP.NET (1.1/2.0) で開発したアプリケーションをWindows Server 2003 (IIS6) 上でテスト目的で実行可能なレンタルサーバーで、ユーザー登録さえすれば無償で使えます。

そこで、本稿では無償のWebアプリケーション用開発環境であるVisual Web Developer 2005 Express Editionを使用し、簡単なアプリケーションを作成し

てWebMatrixHostingで動作させるまでの手順を紹介します。

## WebMatrixHosting の特徴

WebMatrixHostingではASP.NETの実行環境に加え、SQL Server 2000データベースも使用することができます。その一方でいくつかの制約もあります。特徴を簡単にまとめると次のようになります。

- ・ 20MBのスペースを使用可能
- ・ ASP.NET 1.1/2.0を切り替えて選択可能
- ・ SQL Server 2000 (10MB) を使用可能
- ・ 本格運用目的では使用できない
- ・ FTP経由で60日以上ログインしないとアカウントが失効する
- ・ ASPスクリプトは実行できない

また、ファイルのサイズにも制限があり、ASPXファイルや画像は100,000バ

イトまで、XMLファイルやMDB、DLLファイルは1MBまでとなっています。

いずれにせよ、あくまでテスト目的での使用が許可されていることに注意しましょう。

## WebMatrixHostingへの サインアップ

WebMatrixHostingのホームページ (<http://japan.webmatrixhosting.net/>) より「サインアップ」メニューを選択してユーザー登録します。

任意のニックネーム、メールアドレス、パスワードを入力。国名は「Japan」を選択し、「プロフィール作成」をクリックして登録を完了すると、アカウントが作成されます。ニックネームはユーザー名やホームページのURL、データベース名の一部として使われるので無難な文字列を選びましょう。

登録したニックネームとパスワードでログインすると「マイサーバー」メニューからホームページURLやデータベースサーバー名の確認、ファイルの

レベル >>> Level

1 2 3 4 5

言語 >>> Language

■ C#

ツール >>> Tool

■ Visual Web Developer 2005 Express

アップロード、ASP.NET Starter Kitsのインストールなどができます。

今回はASP.NET 2.0ベースでページを作成するので、「Version switching」メニューで既定の「1.1.x」ではなく「2.0.x」を選択し、「変更」ボタンをクリックしておきましょう。

## Webサイトの作成

今回は簡易RSSリーダーを作成します。RSSのURLをSQL Serverデータベースに登録しておき、グリッドに表示されたURLから選択された記事を一覧表示するというものです。表1のようなファイル群で構成されます。

まず最初に、アプリケーションのファイル一式を収めるWebサイトを作成します。Visual Web Developer 2005 Express Edition（以下VWD）を起動し、「ファイル」-「新しいWebサイト」

表1：簡易RSSリーダーの構成

ファイル	内容
Default.aspx	RSSを表示する画面
login.aspx	ログイン画面
Web.config	アプリケーション構成ファイル

から「ASP.NET Webサイト」を選択して新たなWebサイトを作成します。

このWebサイトを構築する言語や作成場所を以下のように設定します(図1)。

[作成するWebサイトの設定]

- ・場所：ファイルシステム/  
任意のディレクトリ  
(例：C:\file\pgrm\css\rsreader)
- ・言語：Visual C#

[OK] ボタンをクリックすると、指定されたフォルダに新規のWebサイトが作成されます。画面右のソリューションエクスプローラを見るとDefault.aspxと空のApp\_Dataフォルダが含まれていることがわかります(図2)。

新規作成メニューでは、「ファイルシステム」以外にも「HTTP」や「FTP」も選択できます。これらの違いは次のようになります。

- ・ファイルシステム：ローカルコンピュータにWebサイトを作成します。構成やユーザーインターフェイスの変更といった、ちょっとした修正もWDVの中から簡単に確認

できます。そのためデバッグ時はとても重宝します。また、完全にサイトを作成してから、本番Webサーバーに転送することになるので、安心・安全です。

- ・FTP：FTP経由でサーバーに直接Webサイトを作成します。そのため、作成場所にFTPサーバーを指定する必要があります。WebMatrixHostingもFTPアクセスが可能なので、この方法も選択可能です。ただ、WebMatrixHostingに限らず、パフォーマンスなどの関係で、「ファイルシステム」を選択し、ローカルコンピュータにWebサイトを作成してサーバーに転送するほうがストレスなく作業できるのではないかと思います。
- ・HTTP：HTTP経由でサーバーにWebサイトを作成します。この場合はFrontPage Server Extensionsを有効にしておく必要があります。WebMatrixHostingでは「マイサーバー」メニューで「FPSEの有効化」からFrontPage Server Extensionsを有効にできます。

図1：新規Webサイトの作成

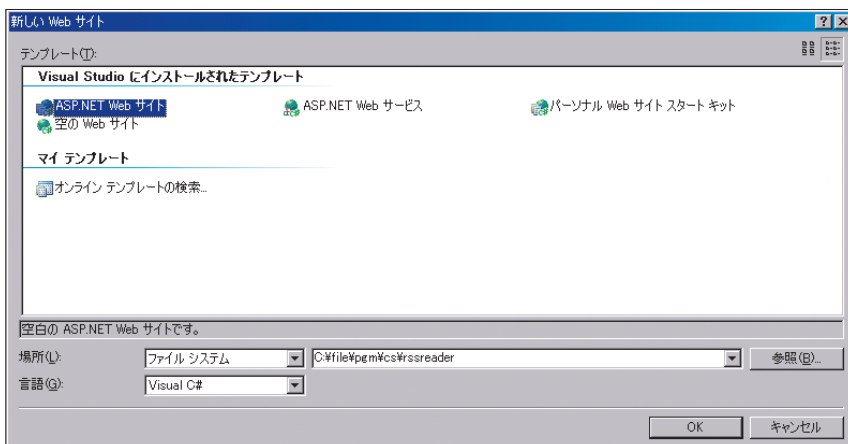


図2：ソリューションエクスプローラ

